

ひとりひとりひかる

きぼう

2010 10/1
第62号

発行：かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp

榿の木園 : kasiem@k3.dion.ne.jp 榿の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp

かしの木 ホームページ [http : www.h3.dion.ne.jp/~kst/](http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/)



榿の木盆踊り大会

平成22年度の榿の木盆踊り大会が例年通り、8月10日(火)榿の木作業所で盛大におこなわれました。午前中は、大雨警報がでる空模様で、開催が危ぶまれましたが、夕方から、小雨が降ったりやんだりの中でおこないました。多くの地域の方々にお集まりいただき、楽しいひとときが持てたと思います。来年は、晴れやかな天気を期待しています。

(関連記事 2ページ)

【62号きぼうの目次】

表紙・写真・目次	P. 1
地域福祉コーナー①/盆踊り2景	P. 2
地域福祉コーナーに/フェスティバルの想い	P. 3
施設コーナー①/ステップ西島工場	P. 4
施設コーナー②/GHC はぎわら	P. 5
施設コーナー③/こんにちは「きーぷ」	P. 6
かしの木の会コーナー①/バザー委員会	P. 7
かしの木の会コーナー②/ステップ「保護者会」	P. 8
文芸コーナー/「汝自身を知れ」	P. 9
お知らせコーナー/予定など	P. 10

地域福祉コーナー①

盆踊り2景

今年から、檜の木福祉会の催す「盆踊り」が2つになりました。檜の木盆踊り大会とチャイブ夏祭りです。1つは、昭和56年から数えて30回目的のもの、そしてもう1つは、今年初めての盆踊り。

障がいをもった方々の支援施設として、このような行事を催すことは、同じ地域に住んで見える方々との交流を持つ上でとても大切なことです。また、この行事が地域から期待されていたり、地域の方からの要望であればなおさらです。

「檜の木盆踊り大会」は、檜の木福祉会が檜の木作業所を昭和56年に開所させてから行われていました。一宮市(旧尾西市)富田西町を中心とした地域の方と協力し合いながらおこなっていました。主体は、檜の木作業所で、そこに富田西町の年行事さんたちに模擬店を開いていただいたり、子ども会さんに金魚すくい、風船つりの店を出していただき場を盛り上げていただきました。終了したら、富田の役員方と、職員が富田公民館でお互いの労をねぎらって、飲み会をしていました。懐かしい思い出です。秋は逆に、富田西町子供会が催す西町運動会に、檜の木作業所の利用者が招かれていたのです。現在は、少子化で子供会の存続も危ういとのことで西町運動会はなくなり、檜の木運動会と名をかえておこなっているのが現状です。



このような地域との結びつきがあつて、地域に支えられながら、檜の木福祉会は活動を続けていきます。そして、30年という月日を重ねてきました。「檜の木盆踊り」は、そういった意味でも、富田を中心とする地域の方々への、お礼の意味もあるのではないのでしょうか。

昨年4月からスタートした事業に、かしの木サポートプラザ「チャイブ」があります。



一宮市北丹町に、一宮市とタイアップしてできた、福祉サービスの複合施設です。ここで7月31日(土)夕刻に「チャイブ夏祭り」を催しました。この夏祭りは、一宮市北丹町を中心とする地域の方々のリクエストによるものです。「以前、この地にあつた盆踊りを、この施設で復活させてもらえないだろうか」と地元の有識者の方が、現場の職員に相談したのがきっかけです。

新しい場所で、檜の木盆踊りのノウハウが活かせるか、地域の人が多く集ってもらえるか、模擬店を出す人手は確保できるのか・・いろいろ不安を抱きながらの開催でした。幸い天気にもめぐまれ、踊りのボランティアの方々にも助けられ、多くの方々にあつまっていただきました。チャイブという施設が、地域の方々に「はじめまして、チャイブです。」といったご挨拶ができた感じがします。そして、夏祭りを何度か繰り返すたびに、どんどんチャイブが地域にとけ込んでいく気がします。



例年にない、記録破りの猛暑の夏におこなわれた、

地域福祉コーナー②

かしの木フェスティバルに寄せる想い

夏の終わりは、いつだったのでしょうか。記録的酷暑が続いたせいで、もう10月なのに、まだ初秋の感じがしています。昨年、大騒ぎした新型インフルエンザは、どこにいつてしまったのでしょうか。

昨年度、かしの木フェスティバルは、中止にさせていただきました。インフルエンザの影響で自粛させていただいたのは、ご存知のとおりです。



記念すべき10回目を迎える予定でしたが、できなかったことで、不充足感の残る1年になってしまいました。

もともと、かしの木フェスティバルは、榎の木福祉会発足20周年記念、入所施設「かしの木の里」の開所記念として、開催しました。一宮市のこの地域のみなさんに対しての、榎の木福祉会やその施設利用者への、日頃のご理解とご尽力に対してのお礼の意味を込めた行事でした。

ところが、内容が好評だったのか、地域の方から「来年も来ます。楽しかったから・・・」とか「交流が持ててよかった。」という感想を聞くと、職員の中からも自主的に「期待されているのだったらやろう！」と声が上がったのでした。そして、4回、5回と続けていくうちに、どうやら地域の風物詩になってきたようです。

大きな行事を継続していくことは、それだけ大きなモチベーションが必要であり、リスクも背負うこととなります。また、いろいろな方々に協力を得なければできません。そのような折に、榎の木福祉会のバックアップ団体である「かしの木の会」が共同開催をしていただけるようになりました。そして、なによりも地域の方々のご協力です。ステージなどの出演者を含めて、大変多くの方々にご手伝っていただいております。協賛していただける多くの企業の方々、社会福祉協議会に登録されたボランティアの皆さん、学校、保育園、各種サークルの方々、地域の福祉関係者・団体、フリーマーケット参加の方々などです。大変、ありがとうございます。



さて、1年越しの想い寄せて「第10回のフェスティバル」が着々と準備されています。テーマは、つなげよう てとて ひろげよう みんなのわです。このテーマは、ここ数年かわらないのですが、少しずつでもこの みんなのわ が広がっていけばと思っています。今年は、10月31日(日)例年通り、富田山ひろば(尾西グリーンプラザ北)にて行います。昨年の開催できなかった分まで、素敵なフェスティバルにできたらと思います。是非遊びにきてください。

かしの木フェスティバル実行委員会

施設コーナー①

ステップ 西島工場

6月から、「ステップ西島工場」がスタートしました。就労移行支援事業所ステップから生まれた、就労継続支援B型事業所です。

日中活動として、自動車部品のバリ取り、ダイレクトメールの封入などの軽作業を行っています。残念ながら、今は定期的に貰える仕事が無く、仕事探しに奔走する現状ですが…。生産業界の厳しい状況の中、できるだけ利用者さんの適性に合った物をと念頭に置くと、なかなか難しいですね。

少し話が逸れますが…。就労移行支援は、自立支援法により利用期間が2年間と定められています。必要であれば延長申請→市の審査会を通り、1年間の延長が可能です。就労移行支援事業所ステップから西島工場に来たメンバーは、利用期間である3年を経過した方々です。

会社で働きたいという意欲があっても、求職活動をしたけれども、その人に合った仕事にめぐり合うことができなかったり、企業側の配慮がほんの少し足りなかったり、雇用には結び付かなかったんですね。ご本人の特性に対してだったり、メンタル面のケアだったり…そういったところで、企業側からほんのちょっとした配慮があれば、皆さんバリバリ働ける技術は持っているんです。仕事内容によっては健常者以上の仕事量をこなせるのに…本当にもったいない話ですね。

正直なところ、西島工場が立ち上がる時、ふと思いました。就労移行での3年間、利用者さんひとりひとりにとって、何かプラスになることを身に付けてもらえただろうか…。もちろん、「一般就労=ご本人の幸せ」とは

必ずしも言えないと思います。ただ、職業習慣を身に付けることでも、作業能力をより向上させることでも、「就労移行に来て、こんなことができるようになった」感覚、そして取り組み内容はご本人にとって適切だったのか…。今までの取り組みの中で足りなかったものを、ひとりひとりに提供していきたいと感じました。

さて、西島工場ができて3ヶ月。いつも思うのは…皆さん、作業能力が高い！黙々と取り組んでいる！就職できるんじゃない！？ただ、ご本人の特性から、ちょっぴり周囲からの刺激に弱かったり、報告するのが苦手だったり…。でもそれに合った仕事環境や内容をほんの少し配慮してもらえれば、バリバリ働けるんじゃないか…？その上こんなに仕事をしたいという意欲があっても、こんなに仕事をこなせるなら、「一般就労」という形じゃなくてもいいのでは…？

そこでステップの就労継続支援事業が目指すのは、皆さんの所得保障です。一般就労にはちょっと結び付かないけれど、福祉サービスの中で、バリバリ仕事をしてバリバリお金を稼ぐグループ。将来生活していくために、好きなものを好きなだけ買えるように。福祉サービスの中に、「お金を稼ぐ」ことが目標の取り組み内容があってもいいのでは。そんな場所を提供できるよう、努力していきたいと思っています。

もちろん、一般就労を希望される方には、それを目指した取り組みをします。販売がやりたい、花を育てたいという方には、その提案をしていきます。利用者さんひとりひとりのニーズを聞き取り、ご本人の気持ちに添った支援をすること。そしてそれに対応する取り組み内容の充実を図ること。以上を支援者の課題として、利用者さんのより良い生活につなげられたらと思います。

就労継続支援B型事業所
ステップ西島工場 職員

施設コーナー②

こんにちは♪GHCはぎわらです★

今年の7月に初のアパートによるケアホームが立ち上がりました。名称は「ポプラ201」です。こぶし・みずき・あおき・はすみ・さつき・かえで・に続いて7番目のホームですね。

『ポプラ』という木は枝を幾重にも増やして沢山の枝葉を形成する一本の大きな幹になる木です。アパート初のケアホームである「ポプラ」の枝を地域に沢山作り、大きな樹に作りあげられたらいいな～と思います。この「ポプラ201」に入られたのは、とても心優しい温厚な男性の2名です。お一人は作業所「さいた」で日中活動をされ、送迎バスを利用されております。そんな相方の帰宅をアパートでもうひと方が待ちわびています。今まで、長年就労されており今後はゆっくりとアパートで過ごしてみたいと入所されました。ADLはほぼ自立され洗濯・掃除・風呂掃除・ゴミ出しまで上手にされます。このホームには特定の世話人がいません。夜間はどうなの？食事はどうなの？と心配されるかと思われそうですが心配ご無用！まさに地域による連携で成り立っているホームかと思えます。朝・夕の食事は隣接する「あおきの家」の世話人さんがお二人の食事と一緒に作ってくれるのです。出来あがると電話で「食事できましたよ～」とポプラに連絡が入り、それを聞いたAさんがあおきの家に出向き「ご飯取りにきました～」と出来たての食事を受け取ります。すると、あおきの家から明るい声で「どうぞ～」と手渡す利用者さんの顔が・・・なんとも微笑ましい光景ではないでしょうか？

食事が終わり各自食器を綺麗に洗い今度はBさんが食べ終わった食器を再びあおきの家に戻却しに行かれます。「ごちそうさま～美味しかったよ！」と・・・受け取る世話人さんにも笑顔がこぼれます。

このようなご近所付き合いができる環境って現代社会で失われがちの部分であると感じます。また、土日の休日には「あおきの家」と反対側にある「みずきの家」の仲間と一緒に散歩をしたり買

い物に出かけるなど余暇支援もGH全体で協力し合っています。このように「みずきの家」と「あおきの家」の間にある「ポプラ」は地域の助けを借りながら安全で安心できる暮らしが出来るのです。



毎朝 出勤前に水やりしてま～す♪

そして、お仕事を辞められ長い間ご自宅ではTVを見てほとんどを過ごされていたAさん。「さいた」へ働きにいかれるBさんを少し羨ましく思いながらもご自分のペースでこのホームを満喫されています。毎朝10時になるとコーヒーチケットを握りしめ喫茶店「ふらっと」へ行きモーニングを堪能しに行かれます。自宅に引きこもりがちだったAさんの明るくなった表情を見て、入所前と明らかに違う事を肌で感じたのが従弟の方でした。「Aさんが幸せそうで良かった・・・榎の木さんに出会えて本当に良かった」と目頭を熱くさせるその姿に、私たちは今後も一人でも多くのGH希望者に安全で当たり前の生活を提供出来るよう、日々、地域生活の大切や必要性を訴えていかななくては行けないと強く感じるのです。



あおきの家とポプラはお隣さんです★

GHC生活支援員 中橋 理里

施設コーナー③



みんなが「きーぷ」です

「きーぷ」の契約利用者さん（約 200名）の中には、30名ほどの特別支援学校、通常学校に通われている小学生～高校生の方々がみえます。

彼らは、この長い夏休みに体調やリズムを崩しやすく、分かりにくい生活の中で不安定になることが多いのです。

この夏どんな夏休みを、彼らは過ごしたのでしょうか。

例えば・・・O君の夏休み

O君は中学1年生・・・月曜日～金曜日までの日中は、児童デイ3箇所・日中一時支援「かしの木の里」キッズステイを利用土曜日のお昼から「きーぷ」の移動支援を使ってお出かけ。

福祉サービスを上手に組み立てて利用されています。

彼の夏休みは・・・上手く過ごさせたのか？・・・は彼に聞いていないのでここでは語れませんが、自閉症である彼にとってもリズムをつかむのは、かなり難しかったでしょう。

多くの福祉サービスを使っているからこそ、場所も、人も、行う内容も毎日が変わると彼の特性である「環境の変化に弱い」ことからすると・・・ストレスがかかる場面が多くあったことでしょう。

このストレスから作られてしまうのが、いわゆる「問題行動」とよばれているものです。

「出会う人を次々に押ししてしまう」

「あらゆるものに唾をつける」

この行動は彼なりのいろいろな意味があるのですが・・・

ストレスがかかると、この行動が大きく表にでてきてしまうのです。

人は、彼に対して注意をかける→彼の心はストレスという物体に溢れてしまう

彼の心が安定して素敵な夏休みをすごしてもらいたい、という気持ちはどこの事業所の支援者も同じであることを確認しあいながら、支援の内容を統一させたいと頑張ってきました。

他にもこの夏私たちは、多くの子供達とすごしてきました。『プール』『名古屋港水族館』『科学館』『カラオケ』『買い物』『遊園地』など・・・勿論その子のニーズに応じて出かけるのは基本ですが、刺激に弱い子供達のために、いかに楽しく過ごしてもらえるか、思考錯誤してきました。子供達みんなの笑顔が私達の活力(パワー)になっているので、もっともっと素敵な笑顔に出会えるように、彼らに近づけたらな、と思いながら支援していきたいと思います。

きーぷ・yamaguchi



かしの木の会コーナー①

バザー委員会

こんにちは、バザー委員会です。

前回のバザー委員会では、物資販売の品物が皆様のお手元に届くまでの内容を案内させていただきました。

今回は不用品を頂いたその後の流れをお伝えいたします。

不用品の値段付けには、10～15人の方々にご協力頂いております。

皆様からご提供頂いた品物をまず、分別します。洗剤・陶磁器・カバン・靴

洋服・タオル類・その他にし、一つの山に3～4人で1品ずつに値段を付けていきます。

あまり高いと買ってもらえないし、安いと提供して頂いた方に悪いかな?とか、

この品物ならいくらで買うかな?といいながら、値札を付けていきます。

今まで洋服にも、1枚1枚値札をつけていましたが、これをやっていると1日では終わりません、頂いた方には申し訳ありませんが、新品以外は全部100円とさせていただきます。

山のようにあった品物もお昼ごろには値付けも終わります。一品も残らないように不用品バザーに期待を込めて解散です。

※バザー用品提供のお願い
かしの木の会では10月31日(日)開催予定のかしの木フェスティバルにおいて不用品バザーを実施致します。つきましてはご家庭で眠っている不用品等がございましたら是非ご提供をお願い致します。

※お願いしたいもの

家庭用品＝(タオル・シーツ・鍋・食器・石鹸等)

衣料品＝(新品・新品同様のもの)
カバン・靴・本

布地・(綿のみ)

食料品＝(未開封・期限切れでないもの)

※お断りしたいもの

家具・電化製品・人形・ぬいぐるみ・干支置物・楽器・他バザーの残り物

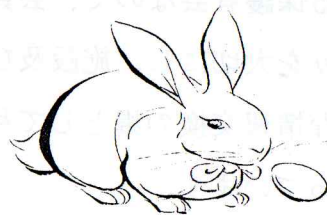
持ち込み先 かしの木の里

連絡先

(0586) 63-2111

受け付期間

10月1日～10月28日



かしの木の会コーナー②

ステップ保護者会

ステップの前身は、ピュアハウスとして檜の木福祉会が運営を委託されました。

その時、私たち保護者は作業所の保護者会として活動をしていました。

その後、ステップと名称を変えました。

平成20年4月に保護者会を分離独立し、活動することになりまだまだ、発足して日の浅い保護者会です。

現在の会員数は今年4月にスタートした西島分工場を含んで27名で会の活動を行っています。

主な活動としては、年5～6回の定例会と施設の行事に伴う環境整備（草取り等）及び、行事の応援手伝い等を行っていますが、どちらかと言うと活動が停滞気味となっています。

でも、最近では高等部を卒業された方の利用が増え、若い会員さんも入会して頂き、今後その若い力で活力溢れる保護者会になることを内心、期待しているところです。

せっかくある保護者会なので、会員間の横のつながりを大切にし、施設及び会員相互の貴重な情報交換の場として利用できたらと思っています。

しかし、現実には、お勤めの方その他諸

事情を抱えている方もあり、定例会への参加も毎回、同じような顔ぶれで、定例会への参加率も下がり気味です。

この事については、他の保護者会も抱えている問題だと思います。

ステップは就労移行支援と就労継続の事業所ですので、社会に出て働きたいという強い意志を持った利用者の方も多く現に、今年度になってからも、就職された方が数名あります。

大変喜ばしいことだと思います、利用者本人はもちろん保護者の方々の努力の結果だと思い、心からエールを送ります。

この事からもわかるように、保護者会への入会、脱会が他の保護者会よりも頻繁にあり、役員を選出や会の運営にも少なからず影響がありますが、これからも少しでも、会員の皆様が顔を出してみようかなあと思われるような議題とか、学習会、又ちょつぱり気分転換に親睦を兼ねて、ティータイム、ランチタイム等を楽しむとか魅力のある会が運営出来るよう、会員の皆様と相談しながら進めたいと思っています。保護者会 澁谷



文芸コーナー

汝自身を知れ

ソクラテスについて前々回の文芸コーナーでは民主政治に関するお話、今回は人間の生き方、「魂の要求するものを大事にする」というテーマについて論じてまいりましたので、今回はこのことをもう少し深く進めて行きたいと思えます。

ソクラテスは、人間の問題に多くの人々の関心を転じたソフィスト（自らを知者と豪語する者）が、ものごとの真偽の検証を討論のその場の勝ち負けであるとしたのに対し、そうではなくて、本当のものを求める精神が大事であるといいました。どこまでも結論を急がずに、その場の勝ち負けなどということでは結論を決めずに、つねに繰り返し繰り返し、少しずつ真なる知恵に近づくべきではない。そのためには、論証の重要性とあくなき自己反省、それから真なるものへの謙虚さ、そういうことをソクラテスは主張しました。それは結局何かというと、人間の問題のなかに、たんにこの世の出世とか、財貨を築き上げるとかということではなく、真の知識を求め探し、真の認識を達成することが大事であるということです。

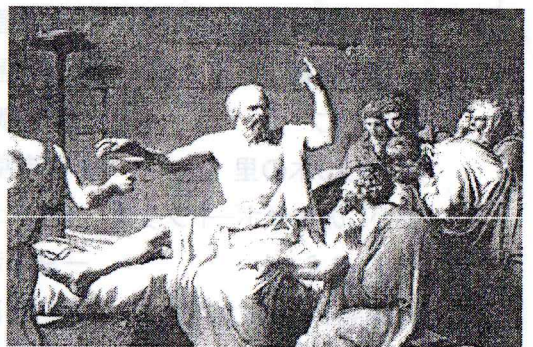
ところで、そのソクラテスは、どういう書物を残したのだろうかということを考えてみなければなりません。不思議なことに、ソクラテスには一冊の書物もございません。それでは、ソクラテスは何によって、われわれに知られているのでしょうか。ソクラテスの場合、いくつかの立派な資料がございます。もっとも大切な資料は、弟子のプラトンが書いている書物です。プラトンの書物は、ほとんどソクラテスを中心とする対話編であるといっていでしょう。初期対話編といわれるもの、つまりプラトンが若いときに書いた書物は、内容はソクラテスの思い出を主に書いています。対話編の中期から後期にかけては、ソクラテスの言説に疑いが投げかけられる、若しくは必ずしも明瞭な答えを与えようとしないうという書き方がされています。そうしますと、中期の中ごろまではソクラテスの思想であろう、それ以降はプラトンの考えであろうということが考えられます。

「もう一つ考えなければならないことは、ソクラテスは主に価値の問題を道徳ないし美に限って論じている。つまり人間の哲学に関心を向けて、人間の哲学を作り上げようとしたソクラテスは、人間の魂の世話というときに、もっとも大事な認

識は道徳的な価値の認識にあると考えたわけです。ソクラテスが、その考えを価値論として道徳とか、美とかという問題に特に言及しているのに対し、もっと価値論の領域を広げて宇宙的な規模まで押し進めたのがプラトンであるといってもよいでしょう。」

それでは、ソクラテスについて、どんなことが一番大事なのだろうかということを考えてみますと、まず一つは「汝自らを知れ」というデルポイの神託（デルポイというアポロンの神を祭ったところがありますが、そこにおいて告げられたもの）を生涯をかけて重んじたということです。「汝自らを知れ」ということは、何でもないことのように思われますが、ソフィストたちが自分の知識の根拠がどこにあるかもわきまえずに、情報をたくさん集めただけでみずから賢いと思ったり、出世の方法を獲得したりして「自らが知者である」と、こう言ったのに対し、そもそも自分が何者であるかということをおぼえてみることは、自分が主張する一つ一つの根拠を探すことに連なる。すなわち、「汝自らを知れ」という教えを認識論的に考えてみると、ソクラテスの仕事はどれほど重いものであったかということがわかれると思います。

紙面の都合により今回のおはなしはここまでです。あしからずご容赦を。



今回も、またJ.L.ダビッドの「ソクラテスの死」の挿し絵です。

「西洋哲学史」より 榎の木園 橋本

お知らせコーナー

【行事予定 10月～11月】

10月16日(土)、17日(日)

福祉とボランティア活動展
一宮スポーツ文化センター

10月23日(土)、24(日)

びさい祭り
一宮西庁舎から尾西一中の道路等

10月31日(日)

第10回かしの木フェスティバル
富田山グラウンド

11月7日(日)

ふくしのつどい
尾西商工会議所

11月20日(土)、21(日)

稲沢祭り・祖父江いちょう祭り
稲沢勤労福祉会館
稲沢市祖父江体育館 等

11月28日(日)

コスモス祭り
一宮彦田公園

☆ ボランティアさん募集

毎月のレクレーション等の行事と一緒に楽しみたい方！作業と一緒に手伝ってくださる方！何でも結構です。先ずはご連絡ください

檜の木福祉会

かしの木の里 担当 武田

檜の木園 担当 伊藤 まで

檜の木作業所 担当 山本

かしの木サポートプラザ 担当 川口まで

自主製品 販売中

檜の木園 ふらっとで、コーヒ販売

檜の木作業所 クッキー パン 駄菓子
(店舗) ごみ袋、お花 販売

かしの木の里 ビーズ、革、とんぼ玉、陶芸、5本指靴下、手芸、押し花、木工、石鹸など

お近くにお越しの際は、是非、お立ち寄りご覧ください。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

檜の木福祉会

- | | | |
|----------------|------------------------|------------------------------|
| ☆檜の木作業所・どんぐり | 一宮市富田字漆畑 16 番地 | Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514 |
| ☆檜の木園 | 一宮市富田字若宮 17 番地 | Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253 |
| ☆ステップ | 一宮市明地字上平35番地の1 | Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241 |
| ☆かしの木の里 | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200 |
| ☆かしの木サポートプラザ | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188 |
| ☆カフェふらっと | 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 | Tel 0586-67-5070 |
| ☆園芸センターさいた | 一宮市西五城字山方21-1 | Tel/Fax 0586-62-0039 |
| ☆相談支援ゆんたく | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-64-5882 |
| ☆就業・生活支援すろーぷ | 一宮市明地字上平 35 番地の 1 | Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241 |
| ☆療育サポートプラザチャイブ | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188 |
| ☆居宅介護事業所きーぷ | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200 |
| ☆G. H. C はぎわら | 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 | Tel 0586-67-1787 |
| ☆G. H. C びさい | 一宮市祐久字九百坪97 | Tel 0586-68-6505 |

(はぎわら … みずきの家・あおきの家・はすみの家・ポプラ201 びさい … さつきの家・かえでの家・こぶしの家)